

各 位

新日鐵化学株式会社
UNIVERSAL DISPLAY CORP**有機EL材料の新規マーケット開拓で連携**

新日鐵化学株式会社（以下新日鐵化学）と米国・UNIVERSAL DISPLAY CORPORATION（以下UDC）は、有機ELディスプレイに用いられる赤色燐光材料に関して、新たなマーケットの開拓に向けて連携することといたしました。

今回、両社がマーケット開拓を進める赤色燐光材料は、新日鐵化学の開発した赤色燐光ホスト材料「NS11」と、UDCの開発した赤色燐光発光材料とを組み合わせたもので、両材料の長所を効果的に活かし、以下の特長を実現しています。

- ①駆動寿命の長期化
- ②高い発光効率
- ③消費電力の大幅な低減（従来の赤色蛍光材料と比較して、トータル40%低減）

これらによって、携帯電話への動画配信にとまなう、モバイル電子機器の長時間駆動といった、新たなニーズへの対応も期待されています。

今後両社は、有機ELディスプレイに関して、先行する液晶ディスプレイとの差別性を図り、市場の本格的な拡大を遂げるために、燐光材料および周辺技術の向上を図るとともに、積極的な新規マーケットの開拓を進めてまいります。

【参 考】

新日鐵化学は、複素環式芳香族化合物誘導体や、医農薬中間体製造などに関わる蓄積技術を活かし、早くから有機EL材料の事業化に取り組んでまいりました。独自に開発した昇華精製技術、不純物コントロール技術など、超高純度の製品を安定的にかつ大量に製造できる設備・技術の開発によって、業界のトップランナーとして高い評価を得ており、また、燐光材料の世界初めての実用化も相まって、これまでに国内外での採用実績を着実に増やしております。

UDCは、有機EL分野における燐光発光基本技術（PHOLED™）の権利保持者であり、燐光発光に関わる革新的な技術開発、材料開発ならびにそれらの商品化を行う世界的リーディングカンパニーです。また、有機EL技術の研究開発においては、プリンストン大学および南カリフォルニア大学などと緊密な協力関係にあり、材料や素子構造等に関する各種重要技術を保有しています。

こうした背景の下で両社は、昨年、従来の蛍光材料と比較して、およそ四倍の発光効率を実現する赤色燐光材料を開発し、世界に先駆けてその実用化に成功しました。同年に開催されたフラットパネルディスプレイの総合展「ファインテックジャパン2005」において、この赤色燐光材料の開発に関して、東北パイオニアおよびパイオニアとともに、アドバンスディスプレイオブザイヤーのグランプリを受賞するなど、その実績が高く評価されています。

新日鐵化学株式会社

設 立 : 昭和31年
資 本 金 : 50億円（新日本製鐵株式會社 100%）
本 社 : 東京都千代田区外神田四丁目14番1号
代 表 者 : 代表取締役社長CEO 兵頭義雄
売 上 高 : 2,985億円（平成18年3月期連結）
事業内容 : 下記製品の製造販売
 コークス、炭素材製品、工業用ガス、
 基礎化学品、機能性化学品、潤滑材、合成樹脂、塗料、
 電子材料（回路基板材料、有機ディスプレイ材料、半導体関連材料）
ホームページ : www.nsc.co.jp

UNIVERSAL DISPLAY CORPORATION

設 立 : 1994年
本 社 : 375 Phillips Boulevard, Ewing, New Jersey 08618, USA
代 表 者 : Steven Abramson, President
売 上 高 : USD 10.1 Million (2005)
事業内容 : フラットパネルディスプレイ、照明及び光学電子機器類用の有機EL技術・製品の
 開発及び有機EL技術ライセンス供与
ホームページ : www.universaldisplay.com

※本件に関するお問い合わせ先

新日鐵化学株式会社 総務部（広報） 辻 邦博、石井秀雄
〒101-0021 東京都千代田区外神田四丁目14番1号
TEL03-5207-7600/FAX03-5207-7648